

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 20 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 20 日 作成

事務事業名		熊本県物産振興協会参画事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画 体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり	所属部	産業振興部	課長名	米澤俊一
	施策	12	商工業の振興	所属課	商工振興課	担当者名	中嶋繁之
	基本事業	34	生産・販売力の強化	所属班	商工・企業誘致班	(内線)	1253
				法令根拠			

予算科目	会計	1	款	項	目	事業連番	10307	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12	
											コスト削減優先度評価結果	6

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
振興協会への参画によって、市内物産のPRIに寄与する。
【業務の流れ】
請求書受付、支払及び振興協会からの調査依頼への回答
物産品の宣伝、展示等の事業展開に必要な情報の提供を受ける。
【主な予算費目】
負担金

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 請求書受付、支払 物産品の宣伝、展示等の事業展開に必要な情報の提供を受ける。 調査及び回答	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度と同様
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 熊本県物産振興協会	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 振興協会の研修会、講習会の開催回数 回 イ 請求書受付、支払業務 H
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 熊本県物産振興協会加盟団体に多くの情報が提供され、スムーズな運営を図ることが出来る。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 振興協会加盟団体数 社 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 経営基盤が安定している。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 振興協会主催事業への出席回数 回 イ ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 工業出荷額 万円 イ 商業売上高 万円

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	100	100	100	100	100	100	
	(A) 事業費計	千円	100	100	100	100	100	100		
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	3	4	4	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	70	72	77	25	25	25	25	
	(B)人件費計	千円	278	287	306	100	100	100	100	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	378	387	406	200	200	200	200	

活動指標	ア 回 イ H	5 20	5 72	5 77	5 25	5 25	5 25	5 25	5 25	目 標 合 計 値 画 22 年 度
対象指標	ア 社 イ	419	406	406	410	410	410	410	410	
成果指標	ア 回 イ	5	5	5	4	4	4	4	4	
上位成果指標	ア 万円 イ 万円	28915684 4761816	29505637 5179038	33000000 4742768	33000000 4742768	33000000 4742768	33000000 4742768	33000000 4742768	33000000 4742768	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成5年4月1日、熊本県物産振興協会の設立に伴い市町村の取組みが始まった。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
昭和38年観光基本法~昭和39年物産振興協会任意団体を結成。
平成18年の合併により負担金が5万円から10万円へ変更となった。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
地元特産品の全国展開に向けてアンテナショップ等への出品希望があった。

事務事業名	熊本県物産振興協会参画事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 振興協会のスムーズな運営を図ることによって、物産情報の提供が図られるため結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 全市民に情報を提供することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象・意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 振興協会へ参画し、多くの情報を市内企業へ提供することにより物産の振興を向上させる余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 流通の形態が変わってきているので、物産品の消費者嗜好を知る上においても適切である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事務がない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 他市町村とも同額の負担であるので削減の余地なし。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 負担金の支出と研修会への参加であり受動的立場のため削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 振興協会のスムーズな運営を図ることによって、物産情報の提供が図られるため、不特定多数の人々に情報発信ができるため公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性については、振興協会へ参画し、多くの情報を市内企業へ提供することにより物産の振興を向上させる余地がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 平成18年度に参画したばかりであり振興協会の今後の推移を見守る。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

平成18年度に参画したばかりであり振興協会の今後の推移を見守る。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)